


むし歯の進行止めのお薬を知っていますか？

東京都立心身障害者口腔保健センター

1



はじめに

むし歯の治療と言うと、削って詰め物やかぶせ物をするイメージがあると思います。しかし、治療が難しい場所にあるむし歯に対して、お薬を塗って進行を抑える方法があります。

今回はそのお薬(フッ化ジアンミン銀)について紹介させていただきます。

2

むし歯の進行止めのお薬 フッ化ジアンミン銀とは？

- むし歯の進行止めのお薬はフッ化ジアンミン銀(商品名;サハライド®)と言い、日本で開発され半世紀近く使用されています。
- 高濃度のフッ化物と、銀の力で初期の虫歯の進行を抑える薬です。
- しかし、進行してしまったむし歯には使用できません。



むし歯の進行止めのお薬 フッ化ジアンミン銀

3

どんな効果があるの？



フッ化ジアンミン銀塗布

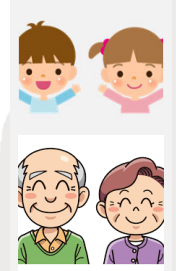
- 初期のむし歯の進行を抑制
初期のむし歯であれば、フッ化ジアンミン銀を塗布することでむし歯の進行を抑制できます。ただし、歯が黒く変色するため永久歯の前歯など目立つ部位の使用は考慮が必要です。
- 知覚過敏の症状を抑制
フッ化ジアンミン銀を塗布すると、歯に対する温度変化や接触刺激、過敏な症状を抑えます。



4

どんな人に使えるの？

- 一般的に子どもに使用することが多いです。特に、フッ化ジアンミン銀は歯を削ることがないため、治療を嫌がるお子さんや障害のある患者さんに効果を発揮します。
- その他、高血圧などが理由で積極的な歯科治療が難しい患者さんにも有効です。
- 近年では高齢者にも使われるようになり、再びフッ化ジアンミン銀が脚光を浴びるようになりました。



5

高齢者はどこがむし歯になりやすいの？

歯周病などの原因により歯ぐき下がると、歯の根が露出します。歯の根は、エナメル質に比べ歯の質が弱いのでむし歯になりやすいのが特徴です。



エナメル質

歯の根のむし歯

下がった歯ぐき

6

なぜ高齢者にフッ化ジアンミン銀を使用するの？

口の中の問題

高齢者は、歯ぐきの退縮により歯の根のむし歯になりやすい。薬の服用や加齢により、口の中が乾燥しやすくさらにむし歯になりやすいリスクが高くなる。

身体的な問題

歩けない、寝たきりなどの身体的な問題から頻繁に歯医者に通えない。

全身的な問題

高血圧など全身疾患を有している高齢者は積極的な治療は難しい。

また、近年では最小限の処置で、健全な歯を最大限に保存するという考えのもと、小さいむし歯は削らないようになってきました。

7

治療の流れ

①歯を磨いて表面をきれいにしていきます。

②歯を乾燥させます。

③フッ化ジアンミン銀を塗って、3分程待ちます。
(一定の時間放置することで浸透していきます。)

④口の中に残っていると強い苦みを感じることもあるため、水で洗い流します。

これを3回繰り返し、その後は硬さ等を確認しむし歯の進行があるか経過をみていきます。



8

フッ化ジアンミン銀で、むし歯の進行が抑制できている症例を紹介します

概要： 26歳 女性むし歯のリスクが高く、治療を頻繁に実施していた。



3年経過



奥歯の裏側に小さい虫歯を発見し、フッ化ジアンミンを塗布。

ホームケアと定期的な歯科受診により治療をせずに維持できている。

9

定期健診の重要性

- 進行止めのお薬は一度塗ったからむし歯にならないわけではありません。
- 定期的にもし歯が進行していないかを確認することが大切です。
- 普段の歯磨きや間食のコントロールにも気をつけ、健康な歯・口を維持していけるようにしましょう。

10